

明日の医療を担う!

平成26年度 広島大学医学部
ふるさと枠のご案内
[広島県コース]



広島大学



広島県
Hiroshima Prefecture



地域医療を担う医師の育成について

広島大学長 浅原利正

学術研究の進歩は目覚ましく、画像診断の進歩、分子生物学の導入、iPS細胞の応用、再生医療の展開、ロボティックサーチェリー、など医学・医療もかつてない速度で進歩し、大きく変わろうとしています。一方では、我が国はこれまで人類が経験したことのない超高齢化社会を迎えています。この様な社会環境変化の中で広島圏域では医師の需要は年々増大し、育成が不十分なのが実情です。特に中山間地の地域医療を担う医師と特定の診療科の医師の不足は深刻です。平成20年には「“みんなで守ろう広島県の医療”緊急アピール」を発表する状況にまで至りました。そうした中で、平成21年から広島大学と広島県が連携して広島県での医療を担う人材を育てるため「ふるさと枠入試」を開始いたしました。

幸いにも平成21年に5名、平成22年から平成24年は各年15名、平成25年は18名と順調に優秀な学生が入学し、一般学生とともに充実したキャンパスライフを楽しんでいます。このふるさと枠で「診療科の選択の自由がない」とか「先進的な医療の勉強ができない」といったことはまったくありません。「総合医」や「専門医」になるのも基本的には自由です。広島で活躍し、医療を通じた社会貢献を果たしたいという優秀な医師を輩出することを目標と考えています。どうぞ奮って応募いただきますよう期待しております。



ふるさと枠をめざす皆さんへ

広島県知事 湯崎英彦

広島県は、現在、「広島県に生まれ、育ち、住み、働いてよかった」と、皆様に心から思っていただける「広島県づくり」に、取り組んでいます。

このため、県政の基本政策の柱の一つとして、「安心な暮らしづくりへの挑戦」を掲げ、県民の皆様が、健康で豊かな生活を送られるとともに、県内のどこに住んでいても、安心して必要な保健・医療サービスが受けられるよう、市町をはじめ、広島大学、医師会等の関係団体と連携しながら、地域医療の体制づくりを推進しています。

広島県には、多くの中山間地域や島嶼部があり、地域の医療をどのように守っていくかが、大きな課題となっています。

広島大学におかれでは、平成21年度入学者から、広島大学医学部医学科に「ふるさと枠」を設置され、平成22年度からは、広島県からの寄附講座により、地域の医療機関で医学部学生の「地域医療実習」が実施されるなど、地域医療を担う医師の養成や地域医療の充実に向けた取組みが進められており、大いに期待しています。

将来の広島県の地域医療を担っていただく皆さんには、本県の宝です。また、広島県づくりを進めていく仲間だと思っていますので、是非、地域医療への関心を強く持っていただき、ふるさと枠にチャレンジしてください。

～ 広島大学医学部ふるさと枠で学べること ～

基本的には、全ての授業・実習において一般の学生と全く同じ内容を学習します。小グループごとのゼミナールにおいても一般の学生と混ざるようにグループ分けをしています。しかし、それとは別に、ふるさと枠の学生を対象としたプログラムがあります。そこでは、定期的なミーティングや休みの期間中を利用した実習などを通して、皆さんのが総合診療や地域医療を早期に体験できるよう企画しています。将来皆さんのがどんな専門性を選択されるかは基本的には自由なのですが、総合診療は全ての診療の基礎となるものです。それらを早期にしかも深く体験できるよう配慮しています。

広島大学医学部長からのメッセージ



医師を志す高校生の皆さん、広島大学の医学部では、整備されたカリキュラムのもとで充実した学生教育を行ってきましたが、この「ふるさと枠」の開始に合わせて、より高いレベルの卒前・卒後教育を行うためのシステム作りに取り組んでいます。医学部で育んでいる「1学力 2地域力 3英語力（国際力） 4研究力（分析力） 5外科力（実技力） 6教養力 7友人力（安全力）」を伸ばす場として、この「ふるさと枠」はとても相応しいものです。皆さんの積極的な応募を期待しています。

広島大学医学部長 吉栖正生

広島大学医学部ふるさと枠の先輩から

ふるさと枠では、長期休暇に離島などで実習をしたり専門家の方に講演していただいたりと、他のみんなより詳しく地域医療について学べます。でも、学内では特別な存在というわけではなく、ほとんどみんなが部活に所属し、練習に遊びに、楽しくキャンパスライフを送っています。そして、何よりふるさと枠は将来の目標が明確なので、意欲的に勉強できると思います。地域医療に興味のある方、僕たちと一緒にがんばりましょう！！

医学科4年 森 馨一



広島大学を志望する皆さんへ。ふるさと枠の概要は、広島で将来先陣を切って働く人物を育成する、というものですが、堅苦しいようなことは全然ありません。むしろ長期休暇での実習など、医学生らしく、目的意識の高い学生生活を送れること請け合いです。医師として広島で働く姿がぱっと思い浮かんだなら、ぜひ地域医療という道を見据えてみてください。そして、大学生を楽しみましょう！

医学科4年 神原貴大





入学から卒後の進路

《 例 示 》

入 学

教育：広島大学医学部

卒 業

臨床研修(2年間)【義務期間内】

*義務年限9年

広島県の医師育成支援

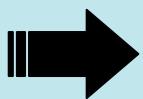
地域医療セミナーの開催

医師育成プログラムの実施

(公財)広島県地域保健医療
推進機構による支援

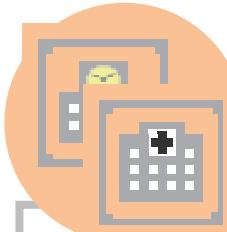
県内の公的医療機関等(7年間)【義務期間内】

(例) 県立広島病院、広島大学病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、JA広島総合病院、
安芸太田病院、三次中央病院、庄原赤十字病院、神石高原町立病院、尾道市立市民病院、
JA尾道総合病院、公立世羅中央病院、公立みづき総合病院、福山市民病院 など



うち、4年間は中山間地域等の公的医療機関等
又は知事が指定する診療科

*卒業後12年間の猶予期間の中で、9年間の義務に従事することになりますので、
途中、希望により3年間まで後期研修や学術研究等を行うことができます（義務期間外）



ふるさと枠奨学金制度の概要

○募集対象 ①及び②の要件を満たす者

- ①広島県内の高等学校を平成24年4月以降に卒業した者及び平成26年3月に卒業見込みの者
- ②広島県が貸付ける奨学金を受給し、かつ卒業後は広島県内で医療に従事する強い意志のある者

○貸付期間 平成26年4月から平成32年3月までの6年間

○貸付金額 年額240万円（月額20万円×12月）

○返還免除 貸付終了後、貸付期間の2倍に相当する期間は、奨学金の返還を猶予します。その間に、 次の条件を全て満たした場合、奨学金の返還を全部免除します。

【条件1】 貸付期間の1.5倍に相当する期間（必要従事期間）を広島県内の公的医療機関等において医師の業務に従事する。

【条件2】 必要従事期間の1/2の期間（1年に満たない端数は1年に切上げ）を次のいずれかで従事する。

- ①知事が指定する県内の中山間地域等の公的医療機関等
- ②知事が指定する診療科

広島大学医学部地域医療システム学講座からのメッセージ



当講座は平成22年度に広島県の寄附講座として設置されました。ふるさと枠の学生の皆さんのが充実した学生生活を過ごせるように、また卒後の進路に夢を持てるようになることが大きな目的の一つです。ふるさと枠というのは全国的にも新しい制度ですので、皆さんの不安が起こらないように、一人一人の思いを聞きながら支援していきたいと考えています。入学後から定期的にミーティングをしながら、たくさんの企画を準備しております。広島県の地域医療を引っ張っていくような人材に育っていただきたいと願っております。

地域医療システム学講座 教授 竹内啓祐

広島県健康福祉局長からのメッセージ



医師は何にも替え難い、素晴らしい仕事です。

私は縁あって現在は行政職となりましたが、それも臨床医時代に感じた中山間地での医療を充実させたい思いからです。

広島大学医学部ふるさと枠は、広島大学と広島県が一体となって、地域医療を志す医学生を募集し、心ある医師として育てていくものです。私の時代にはなかったこの制度を、自信と誇りを持って、皆さんに応募を呼びかけます。

医師は様々な役割分担の上で成り立っています。地域医療を担う医師は、その中でもいろんな医師や関係者との連携が必要なので、より高い人格と能力が求められます。でも、この高いハーダルをもってしてもなお、やりがいがあることは間違ひありません。

県としてもそんな皆さんをバックアップしていきますので、是非、私と同じ医師の道を歩み、地域医療のそして地域そのものの鑑となる人物に育って欲しいと思います。

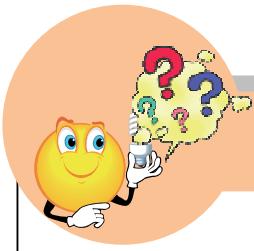
広島県健康福祉局長 佐々木 昌弘

地域病院からのメッセージ



この数年、地域医療の現場では医師不足が進み、日本全国で厳しい状況が続いているですが、これまで地域医療の現場の楽しさを医学生や若い医師に十分に伝えられていなかったことも医師不足を招いた原因かもしれません。地域医療は、プライマリーケアそのものであり、各科を超えたさまざまな疾患の初期診断や治療、救急医療、生活習慣病、終末期医療、老人医療、介護問題など、その内容は多岐にわたり、医師として大変やりがいのある、魅力ある仕事です。「ふるさと枠」の仲間で地域医療をもっともっと楽しく、魅力のあるものにしてゆきましょう。

神石高原町立病院 副院長（地域医療システム学講座 講師） 服部文子



Q & A

**Q
A**

広島大学ふるさと枠の学生は、他の学生と違う学部教育を受けるのですか。

全ての授業・実習から、地域医療実習を含む臨床実習に至るまで、全く同じ内容を学習します。それとは別に、ふるさと枠学生を対象としたプログラムがあり、定期的なミーティングや休暇中のセミナーなどを実施します。ふるさと枠学生に対しては、在学中に積極的に国内外での見聞を広め、クラスを引っ張っていく存在になれるよう、指導致します。

**Q
A**

広島大学ふるさと枠の卒業生は、自分の行きたい「科」を選ぶことが出来るのですか？

「広島県医師育成奨学金制度の概要」に記載してある返還免除の条件2の①には、自分が将来目指す「科」について、特に制限は書かれていません。ただし、中山間地域勤務期間は原則として総合医として勤務しますので、研修中は、原則として総合医としての修練が必要です。これらの総合医としての経験は、その後総合医としてキャリアを歩む場合はもちろん、専門医を目指す場合も本人の一生の財産となります。

**Q
A**

広島大学ふるさと枠の卒業生は、いわゆる「専門医」を目指すことは出来るのですか？

「広島県医師育成奨学金制度の概要」の返還免除の条件2の②に「知事が指定する診療科」という文言があります。これはまさに「専門医」に該当します。つまり県が「深刻な医師不足」と判断した科であれば、その科を選択することができ、その場合、勤務地は中山間地に限定されません。次に「知事が指定する診療科」に行かない場合、中山間地域勤務期間は原則として総合医として勤務しますが、中山間地域勤務期間終了後、専門医を目指し始めることは問題ありません。また中山間地域勤務期間中も、広島大学の地域医療システム学講座と連絡をとりつつ、を目指す専門医に関わる広島大学の診療科に所属し、将来の専門医取得に向けて準備を始めることが出来ます。

**Q
A**

9年間は、先進的な医療技術の勉強ができないのではないですか？

そのような心配を聞きますが、大丈夫です。まず、「総合医」を目指す場合、広島大学の地域医療システム学講座・総合診療科をはじめとした全診療科・卒後臨床研修センター、県立広島病院を中心とする県内の公的医療機関等が支援し、最先端の「総合医」を育成します。次に「専門医」を目指す場合、広島大学の診療科が中心となって全面的にバックアップします。今後、情報回線を利用したテレ・メディスンも発達し、その活動を支えます。この「ふるさと枠」は、私たち納税者・県民によって支えられる制度であり、総合医であれ専門医であれ、広島で活躍する優秀な医師を輩出することを目標と考えています。

**Q
A**

予想されるコースについて実例を挙げていただけますか？

例えば、「初期臨床研修（県の指定医療機関）2年間」→「県内の公的病院3年間」→「県の指定する中山間地域等の公的医療機関等4年間」といったコースが実例として挙げられます。すなわち一般医学科生と大きな違いはないのです。

ふるさと枠入学者の大学卒業後のコース(例)

大学卒業後、知事が指定する公的医療機関等（広島大学病院を含む）で臨床研修を行い、その後、引続いて県内の公的医療機関等において義務期間を勤務する場合

【例①】：義務期間の1／2の期間を中山間地域において勤務する場合】

	大学卒業	2年	4年	6年	8年	義務期間 9年終了
(例①-1)	知事指定の 臨床研修病院	市立〇〇病院	JA〇〇病院	町立〇〇病院 (中山間地域の公的病院)	公立〇〇病院 (中山間地域の公的病院)	
(例①-2)	知事指定の 臨床研修病院	市立〇〇病院 (中山間地域の公的病院)	県立〇〇病院	赤十字〇〇病院 (中山間地域の公的病院)	広島大学 病院	
中山間地域の公的医療機関（例）						
安芸太田病院、市立三次中央病院、庄原赤十字病院、JA吉田総合病院 神石高原町立病院、公立世羅中央病院、公立みつぎ総合病院 など						

【例②】：義務期間の1／2の期間を知事が指定する診療科に勤務する場合】

	大学卒業	2年	4年	6年	8年	義務期間 9年終了
(例②)	知事指定の 臨床研修病院	JA〇〇病院 (知事指定の診療科)	市立〇〇病院 (知事指定の診療科)		広島大学病院	
	「知事が指定する診療科」は、今後、深刻な医師不足の状況などを考慮、広島県内で確保する必要性が高い診療科について指定されることとなっています。					

（参考）大学を卒業後、現在、広島県内の医療機関で勤務している医師の実際例

（ふるさと枠でない医師）

	大学卒業	2年	4年	6年	8年	
Aさん	国立病院機構 呉医療センター	公立世羅中央病院 (中山間地域)	広島大学病院	財放射線影響研究所	広島大学 病院	現在： 広島大学 病院
Bさん	広島大学病院	庄原赤十字病院 (中山間地域)	広島大学病院			現在： 庄原赤十字 病院
Cさん	武藏野赤十字病院 (東京)	広島市立舟入病院	西城市民病院 (中山間地域)	公立みつぎ総合病院 (中山間地域)		現在： 呉共済病院 忠海分院



キャンパスライフ



ふるさと杵の学生は皆いきいきとキャンパスライフを送っています。勉強、クラブ活動、友人との交流など、大学生としての一般的な活動はもちろんですが、ふるさと杵の学生同士で集まって地域医療について学んだり、親睦を深めたりする機会もたくさんあります。広島の地域医療に貢献したいという共通の思いで結びつく者同士、仲良くなるのは早いようです。ふるさと杵のキャンパスライフの特徴は「たくさんの仲間」です。

地域医療システム学講座 准教授 松本正俊

ふるさと杵先輩からのメッセージ

色々な事に挑戦！ 5年生男子

大学は自由だから、色々な事に思いきり挑戦できるよ。将来に直結するから勉強はやらなきゃいけないけど、いろんなサークルや部活があるから、何でも好きなことを友達や先輩たちと一緒にできて楽しいよ。

本当に充実した生活！ 4年生女子

ふるさと生のみの集まりのおかげもあり、ふるさと生同士の絆は強く、その一方で、ほかの同級生ともとても仲良くなりました。自由な時間が増えるので、高校時代とはまた違う、本当に充実した生活が送れますよ！！

〈部活の写真〉



広島が
好きな人
大歓迎！

同じ志を持つ
仲間がいる
喜び

4年生男子

ふるさと杵の学生は集まるが多くとも仲良くなれます。僕は高校時代、地域医療の実情をよく知りませんでしたが、在学中に研修などがあるのでしっかり学ぶことができます。広島が好きな人は大歓迎です！

高いモチベーションと明確なビジョンが もてる！ 3年生男子

ふるさと杵は、同じように地域医療を志す仲間と共に学ぶので、他の学生よりも高いモチベーションと明確なビジョンを持って学ぶことができます。

また同じふるさと杵の友達には親近感が湧き、ふるさと杵で集まることも多く、かなり仲良くなることができます。

県からの経済的支援もあり、とても有意義で楽しい大学生活が送れます。



学年を越えて
交流あり



〈ネパール研修の写真〉



3年生女子

わたしは今、本当にふるさと杵で入学できてよかったですと思ってます！週に一度のふるさとセミナーは勉強になりモチベーションもあがります。何より楽しいです！先生方や広島県の方々のしっかりとしたサポートのおかげで最初の頃の不安もすっかりなくなりました。また、同じ志を持つ仲間ができる喜びも大きいです。今ではみんな仲良しです！楽しくてためになるふるさと杵なので、友達もよく羨ましがっています。

ぜひ、ふるさと杵受験にチャレンジしてみてください。充実した大学生活と仲間が待っていること間違いないです。

3年生女子

私はふるさと枠に入学して、自分と同じく地域医療を目指す学生とつながりを持てたことがとても嬉しいです。

また、ふるさと枠の先輩や教授から、地域医療セミナーで色々なことを教わることができ、大変勉強になっています。

他の医学生よりも、早い時期から医療に関する知識が学べて、とても有意義だと思っています。



早い段階から医療に触れられる環境！

3年生男子

私は、高校生の時に、地域の医療の現状について知り、貢献したいと思い、ふるさと枠を志望しました。これから、医師を目指す皆さんにとって、ふるさと枠は理想的なプログラムであると思います。他の学生に比べ、早い段階から医療について、考えたり、触れる機会が多く、そういう点は、ふるさと枠はよい制度だと思います。

他の学生よりも多くの実習体験！

3年生男子

ふるさと枠では、同じ意見を持つ者同士で話しをする機会があり充実しています。勉学の時はもちろん、日ごろからとても仲良く、かけがえのない仲間ができます。

長期休みに1泊2日の病院研修に参加できるなど、他の学生よりも多くの実習経験を積めます。

ふるさと枠の良い所は、将来役立つ様々なことを仲間たちと共に楽しく経験することができることだと思います。

一足早く臨床体験！ 3年生男子

ふるさと枠で入るとたくさん友達もできるし、夏期休暇には病院や施設を訪れて一足早く臨床体験が出来ます！面白くて楽しい先輩達や教授の方々に恵まれたふるさと枠なら充実した大学生活が送れること間違いない！

理想的な
プログラム！



〈平成25年度新入生と知事との写真〉



※自治医大入学者3名を含む。



入試情報

医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」に関する入試情報は、広島大学のホームページをご覧下さい。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/nyugaku/>



入試に関するお問い合わせ

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

担当：広島大学医歯薬保健学研究科等学生支援グループ（医学部担当）

電話：082-257-5049

その他ふるさと枠全般に関するお問い合わせ

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

担当：広島大学医学部地域医療システム学講座

電話：082-257-5894



奨学金制度に関するお問い合わせ

〒730-8511 広島市中区基町10-52

担当：広島県健康福祉局医療政策課

電話：082-513-3065